

1年前にお引渡したお施主様宅を訪問します!!

第2弾!!

真夏の体感会

お施主様のご厚意により、この夏2回目のOB施主様宅の体感会させていただけたことになりました。
高性能住宅は、暑い日・寒い日に入ってみて初めてその性能を体感することができます。
当日は夏の建物を体感できるだけでなく、お施主様に建てたときの話や、実際の住み心地を直接聞くこともできる、貴重な機会です。是非ご参加くださいね。

8/21(日)

午前 10:00 ~ 11:30

午後 2:00 ~ 3:30

倉敷市
船穂
T様邸



T様邸のみどころ

- 平成27年6月完成、7月お引渡し
- 2階建て延床面積44坪（+屋根裏9坪）
- 外壁はオーストラリア製のスライスレンガです。
- 遮熱構造により屋根の暑さが伝わりにくいため、屋根裏まで平気で上がれます。この時期しか体感できません。
- 高気密・高断熱・高遮熱性能のため、屋根裏とLDKの14畳用エアコン2台で延べ床44坪と屋根裏の全室の空調をまかせています。
- 玄関の銀河釉（焼成の段階で表面に金属の結晶ができる）のタイルや多彩な照明器具なども見どころです。



倉敷市
西尾
N様邸



N様邸のみどころ

- 平成27年6月完成、お引渡し
- 1階建て**延床面積40坪（+屋根裏6坪）
- 外壁はオーストラリア製のスライスレンガです。
- 大きな吹き抜けの高い天井でも、床との温度差が少なく、屋根の熱が伝わりにくい二重屋根の遮熱構造です。ぜひ体感して見てください（天井の温度を測れます）。
- 14畳用エアコン2台（LDKと屋根裏）で延床40坪と屋根裏の全室の空調をまかせています。
- 無地でパステルカラーが中心の爽やかな内装です。カラフルなタイルなどもお楽しみいただけます。



*本見学会は予約制です。お申込みはお電話・ホームページの問合せページからお願い致します。 おーいいな コスマック



株式会社 コスマック・ガーデン

0120-017-539

TEL: 086-243-8115 FAX: 086-243-8112 URL: <http://cosmic-g.jp/> Mail: info@cosmic-g.jp

家づくりの本質を追求・検証するシリーズ

今回紹介するのは……

もう、夏の屋根裏も暑くない! 屋根の二重化+遮熱

●住宅の「夏の快適性」を確保するために重要なのは、家自体(構造体)に熱を伝えない・溜めないことで、そのためにはまず「遮熱」が必須条件となります。例えば夜に外が涼しくなっても家の中が暑く寝苦しいのは、昼間の強い日射で建物が熱を持ち、その熱が夜になっても残り、室内に放熱することが原因です。それを防ぐためにも、昼間の強い日射を遮り、建物自体の温度を上げないようにする「遮熱」の性能が重要となるのです。

●コスミック・ガーデンではこの遮熱技術に取り組み、夏に最も日射熱の影響を受ける屋根を二重化して通気層を設け、更に遮熱シートを施工する屋根工法を独自開発。これにより昼間に長時間の日射で屋根が高温になっても、建物の構造へ熱を伝えない遮熱性能を実現しています。

この工法の遮熱効果の検証実験では、まず屋根を二重化して通気層を設けた段階で、下地(室内側)の温度は一般的な屋根構造よりも7°C低下、加えて遮熱シートを併用すると更に3°C低下し合計10°C低下。つまり屋根裏や構造体に伝わる温度を10°C下げた遮熱結果を得ました。この遮熱性能は快適性は勿論、省エネ・間取り・デザイン等のメリットに繋がっています。

●コスミック・ガーデンでは、屋根裏が暑くなく建物内の温度変化が少ない高遮熱・高気密・高断熱の性能を活かして、屋根裏にエアコンを設置し、そこから家の中の空調を行う言葉を「セントラルエアコン」技術を実現。といっても大きな機械設備は不要で、14畳用(4.0kW)のルームエアコン1~2台で40坪程度の住宅全体を冷暖房でき、真夏・真冬の快適性と省エネ性を両立しています。

●屋根裏が暑くないことは、2階と屋根裏空間が繋がったロフトデザインの汎用性も高めることができ、夏にロフトの天井に近い位置でも快適に過ごせます。また屋根裏を物置として使う場合も荷物の劣化を防ぐことができます。

●当社の真夏の見学会では、お客様が屋根裏で長時間話しあれることもありますが「暑さは全く気にならない」とのこと。「真夏に屋根裏～2階が暑いのは当たり前」というのは、もう過去の話です。

コスミック・ガーデンの本質を追求する家づくりの技術。

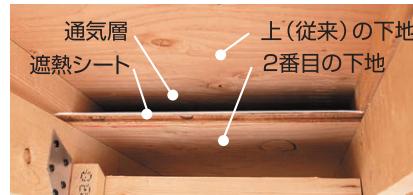
コスミック・ガーデンは常に技術開発と実践に取り組み、トータルバランスで性能の高い住宅づくりを実践しています。

- 陶性外壁ツィーゲル(特許取得)
- 高耐震技術
- 高耐久技術
- 屋根・外壁構造の二重化
- 高気密・高断熱技術
- 床暖房のいらない家
- 屋根裏エアコンによる冷暖房システム
- 天然鉱石による健康効果
- ウィンターガーデン等々、

ホームページを是非ご参照ください。



屋根の二重化と
遮熱の構造

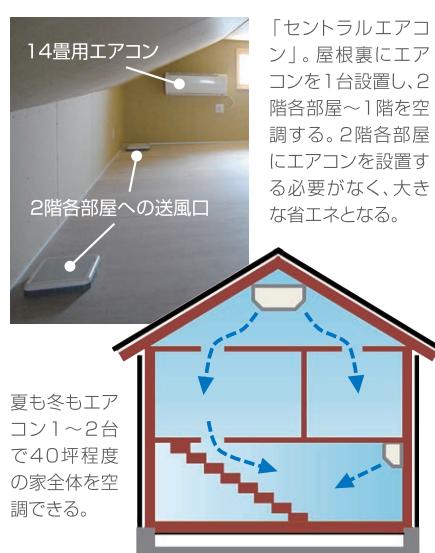


二重化屋根の断面。通気層の高さは約4cm。2番目の下地の下には硬質の現場発泡ウレタン断熱材を施工する。

施工中の様子。2番目の下地の上に遮熱シート、通気洞縁を施工した段階。この上に上の下地～瓦を施工する。



遮熱シート効果の簡易実験。二重化屋根の遮熱シート「有り・無し」の原寸模型を日向に置き、2番目の下地の温度を比較。遮熱シート有りは無しに比べ3°C低い。



「セントラルエアコン」。屋根裏にエアコンを1台設置し、2階各部屋～1階を空調する。2階各部屋にエアコンを設置する必要がなく、大きな省エネとなる。

●少台数のエアコンで建物全体を空調するためには、家全体が夏の暑さに対して高性能でなければなりません。屋根の遮熱は勿論、外壁も通気層を設けた遮熱構造にする。最適な軒(のき)や庇(ひさし)の長さ・角度。窓には遮熱ガラス(Low-e)を使う。蒸し暑さの原因となる湿気を室内に入れない高気密性能。外気温の影響を受けにくい高断熱性能など、「建物全体の総合的な高性能化」が必要不可欠となります。

●熱中症患者が年々増加傾向にある中、救急搬送された65歳以上の半数以上が住宅からの搬送※であり、家の性能が夏の暑さから人の命と安全を守る役割を担っていることは明らかです。真夏も安全・快適に(しかも省エネ)過ごせる内部空間を維持することは、住宅に欠かせない性能の一つなのです。

(※熱中症患者情報速報 平成26年度報告書
国立環境研究所)

家は、性能。

株式会社 コスミック・ガーデン 検索

■お問い合わせはお気軽に
フリーダイヤルで

おーいーな
0120-017-539

■岡山県知事許可(般-24)第19672号 ■「ハウスプラス住宅保証株式会社登録」R-57983
〒700-0975 岡山市北区今丁目12-25 E-mail info@cosmic-g.jp

家創りを100%成功させる「応援メルマガ」好評配信中!
家創りの「要注意ポイント」を、基礎編・実践編・トピックス編でレクチャー。

携帯サイトもご利用ください! →

